

目標達成計画

事業所名 グループホーム フォレスト

作成日: 平成 28 年 8 月 5 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|----------------|---|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 6 | 身体拘束廃止の勉強会を年1回実施していて、知識として職員は理解しているが、転倒のリスクや、離設等の問題から、特に言葉による拘束が気になるところである。 | 身体拘束の意味を、介護の専門職として正しく理解した上で、利用者の方の意向に添った対応を全職員が出来る。 | 同グループ内の他事業所のマニュアルを参考にさせて貰い、認知症介護に即したマニュアルを整備する。 | 3 か月 |
| 2 | | | | 全職員が統一した対応が出来るように、整備したマニュアルを用いて研修会を実施する。 | 1 か月 |
| 3 | 26 39 52 | 利用者の方の認知能力の維持・向上に向けて、様々な援助を行っているが、すべての職員が利用者の方の状態に応じた援助が出来ているとは言えない。 | 全ての職員が、利用者の方の認知能力の維持・向上に向けて、必要な援助を根拠を持って行うことが出来る。 | 認知能力の維持・向上に向けて、どのような援助ができるか、全職員に提案してもらい、フォレストで取り組むことをまとめて手引き書を作成する。 | 3 か月 |
| 4 | | | | 利用者の方のニーズに合わせて手引き書に沿った援助が出来るように、全職員に伝達する。 | 1 か月 |
| 5 | | | | | か月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。